

4月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
イチゴ類	4,927	やや下 回る	4,572	949	100	895	0	0.0	3月に入って日々の入荷量は安定。各地とも3番果が出荷されているが、2番果のようにピークが重なって苦戦することなく、スムーズな販売が続いている。柑橘類など他品目が少ないことや、前年の販売実績が多かったことなどからしつかりと売り場が確保できていたことも要因であろう。4月上旬にかけて再び出回り量は増えてくるが、さほど大きな山にはならず、中旬以降減りながらだらだらとした流れとなる。月間では出回りやや減、価格は前年並を見込む。
メロン類	937	前年並 み	865	806	101	786	0	0.0	3月下旬より熊本産春メロンの出荷が始まっており、年明けからの好天で生育は前年より1旬ほど早め。中心品種となるアンデスは4月に入れば徐々に増えてきて中旬から下旬にかけてピークとなる。同じく3月下旬からは近在産地茨城のオトメ、中旬には熊本産クインシーも出揃ってくるが、量販店中心に需要は高い。全国的にメロンの栽培面積は減少傾向が続いているが、入荷量・価格ともにほぼは前年並を見込む。
すいか類	2,528	前年並 み	1,954	327	93	299	0	0.0	熊本県産大玉すいかは概ね生育順調で、前年よりペースは1旬早い。3月下旬から増えてきて、これまで同様玉肥大も良く大玉比率高め。4月以降も好天が見込まれることから5月連休にかけて出回り量の多い状況が続く。関東産の小玉すいかも生育は若干早めで、4月半ばから増えてくる。食味は良く、玉肥大も良いことから、数量はほぼ前年並、価格は若干安めを見込むが、これでも平年比では高いレベル。